

EuroShop



Euro リテール NEWS 2015 年 1 号

最近ヨーロッパでは、ギリシアの経済状況が大きな問題となっています。報道によれば、欧州連合 (EU) が新たに資金を提供しなければ、ギリシアはまたたく間に債務不履行 (デフォルト) 状態に陥るとのこと。そのため、ギリシアがユーロ圏から離れ、旧通貨『ドラクマ』を再導入することを含め、多角的な議論がなされています。一方アジアでは、3 月中旬の英国を皮切りに、独、仏、伊、瑞、露など欧州各国も参加を表明したアジアインフラ投資銀行 (AIIB) の動向が注目を浴びています。

そのような背景の中から、欧州リテール NEWS 2015 年 1 号をお届けします。テーマは、

- * [業界トレンドとして、モバイル・ペイメントとネット通販の動向](#)
- * [産業・企業ニュースとして、フィリップスのリストラやキャノンの合併・買収情報](#)
- * [イベント・展示会ニュースとして、2015 年の EuroCIS 展](#)
- * [Eurosho//JAPANSHOP 賞のウィナー・プロジェクト紹介](#)

を取り上げました。是非、最後までご拝読ください。

第 1 部：欧州の小売・卸売り業界のトレンド

トレンド：ドイツでモバイル・ペイメントが増加

日本で 2008 年から導入されはじめ、現在では当たり前となった「おサイフケータイ」サービスは、ドイツで注目を集め、2015 年 4 月からベルリンで「NFCity Berlin Initiative」という大型実験が実施されています。ドイツの GS1 がリードをとり、すべての携帯電話会社とリテール大手 6 社が力を合わせ、ベルリンにある 500 店舗にモバイル・ペイメント対応のレジを設置、その数は 2 倍に達しています。基本的にオープン・システムなので、実験に参加したい店舗があれば参加は可能。利用者にとっての参加メリットを高めるため、一カ月間、初めて携帯で支払いをする場合、携帯電話会社が 10 ユーロ (約 1300 円に相当) を利用者に負担します。



対応店舗がまだ限られているため、分かりやすい表示として、参加店舗には左のロゴが表示されています。

場所が違いますが、デュッセルドルフの交通機関「ラインバーン」は、携帯電話会社ヴォー



ダフォンと共同で今年の CeBIT で新しいプロジェクトを発表しました。現状、既に数名のヴォーダフォン従業員が通勤におサイフケイタイを利用していますが、目的は、一般市民が携帯でラインバーン・アプリを使用し、携帯電話を切符として利用することです。

ロゴの出典：<http://www.zahl-einfach-mobil.de>

情報の出典：2015 年 4 月 30 日付け Handelsjournal 誌、2015 年 4 月 15 日付け GS1 プレス・リリース 389 号、2015 年 3 月 18 日付け Express Düsseldorf 誌

トレンド：ネット通販の増加率が減少

EuroShop のパートナー組織である、欧州リテール研究所の調査によりますと、ドイツのネット通販ビジネスの成長が減少傾向にあることが見えてきました。2014 年の秋に公表したデータになりますが、ネット通販のトップ 100 企業の売上成長率は 12.3% (2012 年) から 7.7% まで減少したとのこと。ネット通販のナンバーワンであるアマゾンを除くと、2013 年の成長率は 2.8% まで減少しました。

ネット通販のトップ 100 企業の中でも、業績に大きなバラつきがあります。アマゾンの売上高は 58 億ユーロ (調査が発表した時点で 8050 億円に相当) であり、2 位 Otto グループのネット通販事業の売上高はアマゾンの 3 分の 1、19 億 (2637 億円) にすぎませんでした。3 位 Zalando はアマゾン売上高のわずか 10% 強の 7 億ユーロ (971 億円) でした。

出典：2014 年 9 月 18 日付け Welt 誌、2014 年 9 月 16 日付け Handelsblatt 誌

第 2 部：経済・企業情報

フィリップス社のリストラ：照明器具事業

オランダのフィリップス社は、数年にわたって企業のポートフォリオを変更しました。収益性の高い医療機器と照明器具に集約するため、同社は 2012 年にテレビ事業部、2014 年に家電事業部を売却しました。しかし、LED の普及に伴い、アジア・メーカーとの価格競争が激しさを増し、照明器具の分野においても収益性が大幅に縮小され、フィリップス社は照明事業部 (フィリップス・ルミレドス) の 80.1% の株式売却を決定しました。買い受け先は、中国の機関投資家グループ Go Scale Capital で、売却価格は 33 億ドル (3,964 億円)。両社は株式の売買を第 3 四半期まで完了する予定で合意したようです。

出典：2015 年 4 月 1 日付け FAZ 誌、2015 年 3 月 31 日付け LEDInside サイト




キャノンが買収によって、監視カメラ世界首位へ

日本のキャノンは 2015 年 2 月 10 日、監視カメラ世界首位であるスウェーデンのアクシス (AXIS) を買収し、完全子会社化すると発表。同社の発行済み株式の全株取得を目指し、3 月初旬に公開買い付け (TOB) を行う。買収総額は 236 億スウェーデンクローネ (約 3337 億円)。今回、キャノンにとって過去最大規模の買収となり、その買収によってキャノンは監視カメラの分野でシェア世界一のメーカーになると予想されています。

出典: 2015 年 2 月 11 日付け FAZ 誌、2015 年 2 月 10 日付け日本ロイター

第 3 部 : メッセ情報

EuroCIS が大成功に終了

 2015 年 2 月 24 日～26 日、デュッセルドルフのメッセ会場で開催された EuroCIS は、出展・来場者数とも記録的に増加し、新しいホール構成も導入され、さらに国際色も豊かになりました。昨年に比べ、出展者数が約 35% 増加し、318 社に達しました。ドイツ、イタリア、フランス、イギリスはもちろん、日本、中国、韓国など世界 21 か国から関連製品・ソリューションが集結しました。日本企業は、旭精工、カシオ、キャノン、JCM、シチズン、セイコーインスツル、セイコーエプソン、寺岡精工、東芝、パナソニック、富士通 (50 音順) などが出展参加しました。

来場者数は、業界関係者のみの入場限定にもかかわらず、昨年より約 25% 増加し、60 か国から 8,800 名超を達成しました。数多くの出展者が重要なテーマとして取り上げたのは、IT 関連分野ではマルチ・チャンネルとモバイル・ペイメントでした (日本と違って、オムニチャンネルはまだそれほど扱われていないようだ)。店舗設備に関しては、設備のデジタル化、あるいはデジタル・メディアとショップ・デザインのコンビネーションが話題になり、Umdasch 社のように、もともと EuroShop にしか出展しない店舗設計・設備提供会社も初めて EuroCIS に参加しました。

来年、2 月 23 日～25 日開催予定の EuroCIS に、メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンが日本の優れた技術を数多くの顧客に紹介し、ビジネス拡大に貢献するため、「日本パビリオン」を運営する予定。

出典: 2015 年 4 月 3 日付け MDJ ファイナル・プレス・リリース、
2015 年 2 月 27 日付け Rheinische Post 誌



第4部：Euroshop//JAPANSHOP 賞のウィナー・プロジェクト紹介



(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンと日本経済新聞社は、日本の優れたショップ・デザインをドイツや欧州に広く紹介し、相互のビジネス機会の拡大と

文化的交流に貢献することを目的とした表彰事業「EuroShop // JAPAN SHOP Award ~第2回ショップデザインアワード~」の受賞作品を決定しました。これから、一般部門優秀賞をご紹介します。

- 店名：糸満漁民食堂
- カテゴリー：海鮮レストラン
- 所在地：沖縄県糸満市西崎町 4-17
- 設計：山崎 健太郎
- 敷地面積：473.49 m²
- 延床面積：83.78 m²



コンセプトについて(山崎 健太郎氏より)

沖縄糸満に計画された糸満漁民食堂は、食を通じて地域の伝統や文化を残し、伝えることを目的として創られたレストランである。

この計画では2つのことを大切にしました。

一つはおもな素材である琉球石灰岩。この計画地周辺は、琉球石灰岩の地層から地盤がなっており、文字通り地場の素材を使うことになっています。

もう一つは体験をデザインすること。かつて沖縄の漁民が琉球石灰岩を手積みで自分たちの漁場を作ったように、この計画も「石積みワークショップ」を開催して、関係者と地域住民の手によって構築できる石積みの建築とし、漁民の誇りと愛着に支えられた場所を目指し



ました。参加者が琉球石灰岩の重さを知り、石積みを楽しむこと。(意外なことだが石積みはやってみるとパズルをやっているようで楽しいらしい。)そしてなにより重要なことはそれが、過去を蘇らせる行為ではなく、未来をつくるための行為として新しい建築の構築に関わることを考えました。いうまでもなくここでの体験はこの地域の歴史に支えられたものということができます。いままさに消えようとしてしまっている、かつてかれらのおじい、おばあが自分たちの漁場や塀を自分たちの手によって作り、文化になったように、今回の体験が漁民たちの誇りに気づき、場所への愛着が生まれる小さなきっかけとなればうれしいと思っています。

建築は、地面が隆起しレストランの客席をつくり、陥没してサンクンガーデンをつくる、屋根がかかっているところは、内部になり沖縄の強烈な日差しを遮り、風が抜ける、そんなイメージです。石積みの上に一枚の屋根だけがかけられたこの建築は、沖縄糸満の風土に根ざしたおらかなランドスケープのような場所をイメージしています。



【Euro リテール NEWS】2015 年 1 号をお楽しみいただけましたでしょうか? ご意見やご希望をお聞かせいただけましたら幸いです。よろしければ、お知り合いやビジネスパートナーにも転送してください。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
【編集担当】A. メルケ【メッセ担当】A. メルケ

mdj@messe-dus.co.jp

<http://euroshop.messe-dus.co.jp> / <http://www.messe-dus.co.jp/>



【ご意見・ご感想等】この Euro リテール NEWS は皆様の声を反映させ、より良い紙面を目指しております。読みたい、知りたいテーマがございましたらお知らせ下さい。また、ご質問やご意見も随時お受けしておりますので、お気軽にどうぞ!

